



刈谷市議会議員

2016年7月発行

さはら充恭 市政報告

紡ぎ織りレポート vol. 22

<http://www.m-sahara.jp>

さはら充恭

検索

佐原充恭後援会

〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町
1丁目1番地 トヨタ紡織労組内
TEL:0566-26-0385
FAX:0566-26-0415



活かに温められる
新刈谷市も!

盛夏の候 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます
6月定例会では、熊本地震の被災地支援と、防災機能の見直しをテーマに活動しました。刈谷の地域防災力の向上に、引き続き取り組んでまいります。

変わらぬご指導ご鞭撻、ご支援を心よりお願い申し上げます。

刈谷市議会議員 佐原充恭

1) 6月定例会報告

1. 給食に関する質問・提案をしました(市民文教委員会)。

いらすとや



質問イメージ(再現)

さはらの提案☆刈谷市は1日約16,000食の給食を調理している。熊本や大分県産の食材を使った「仮称:熊本・大分応援給食」を提供し、被災地支援を行ってはどうか?

市答弁: 給食の食材は、使用日に必要量が確実に納品されないと提供が難しく、メニュー変更も原則としてしないが、熊本・大分県産の食材が、コスト等を含め納品に問題がないと判断できれば、被災地支援の一環として、使用を検討していきたい。

給食で被災地支援!!



さはらの要望: 熊本産の食材はナス、トマト、レンコン、ブロッコリー、タケノコなど、比較的使いやすいものが多い。郷土料理にアレンジすればなお良い。給食は子ども達が被災地支援を実感しやすく、産地を知る食育にもなり、防災意識も醸成できる。特例として、ぜひ実施願いたい。

さはらの質問★新第一給食センター(H29.9完成)では、旧センターから何食分を移管するのか?また、市直営から業務委託に変わる際、旧センターの職員の処遇はどうなるのか?

市答弁: 現第一給食センターでは約7,000食を調理しているが、調理数平準化の為、新センター移行後は、第二学校給食センターより約1,000食分を移管し、総調理数を約8,000食とする予定。委託業者を早期選定し、夏休み期間を利用して準備したい。委託変更に伴う職員の処遇については、本人の意向を聞きながら対応する。

さはらの要望: ハードが新センターに切り替わり、ソフトも直営が委託業者に変わるので、慎重かつ入念に切り替え準備をお願いします。現センターの数名の職員さんについては、配置転換になると思うが、市の都合による環境変化なので、不安を感じないようにしっかりケアをして頂きたい。

さはらの質問★新第一給食センターでは、普通給食、食物アレルギー対応給食、特別支援学校用の給食（咀嚼しやすいもの）、ミックス食（特別支援学校用かつ食物アレルギー対応食）の計4種類を作る。どう安全に調理するのか？

市答弁：アレルギー対応食調理室、特別支援学校対応食調理室を設置し、調理する。調理員についても、それぞれの対応給食を特定の調理員が担当するようにし、アレルギー物質の混入事故を防ぐようにする。

新第一給食センターイメージ図



さはらの要望：調理室自体をわけて調理するとの事で、事故防止に万全を期している事がわかったが、**ヒューマンエラー（人為的ミス）が発生しないよう、調理訓練の徹底をお願いする。**また、完成時は施設の内覧会を開催頂きたい。

2. 特別支援学校に関する質問・提案をしました（市民文教委員会）。

さはらの質問★特別支援学校（H30.4月開校）は、刈谷、知立、高浜、東浦圏の肢体不自由のお子さんが入学or他校から転入するが、3市1町のどこから通学しても、従来より通学時間は短縮されるのか？

市答弁：3市1町にはこれまで肢体不自由の特別支援学校がなく、刈谷市、高浜市、東浦町からは、半田市のひいらぎ特別支援学校へ、知立市からは、岡崎特別支援学校へ通っていた。刈谷市立特別支援学校を建設する小垣江東小敷地内は、**圏内のほぼすべての場所において、従来の学校と比較して近距離にあり、通学時間も短縮されると考える。**

特別支援学校イメージ図



さはらの質問★現在、ひいらぎ特別支援学校までは、市内から通学バスが運行されているが、このバスは継承されるか？

市答弁：通学バスは、バス停での待ち時間や乗換えにより、お子さんにかかる負担が大きいこと、また、建設場所の小垣江東小は、刈谷市内、知立、高浜、東浦のいずれからでも**概ね車で30分以内で通える為、決められた路線を運行する通学バスは導入せず、保護者による送迎を原則とする予定である。**

いらすとや



さはらの要望：圏域内からの通学が比較的近距離になる事で、通学バスのニーズがなくなればよいが、**免許も車も持たないご家庭や、特別な事情を抱えるご家庭があれば、個別かつ適切に対応頂きたい。**

さはらの質問★大規模災害時の停電などは、肢体不自由のお子さんの生命にかかわる事態となる。非常用電源の確保など災害時の対応はどう考えているか？

市答弁：災害発生による停電時にも、消火活動に支障を生じないよう、**非常用自家発電設備により消火栓を稼働させる。**また、電力を使用する医療ケアが必要な児童生徒が通うことを踏まえ、**発電機や蓄電装置などの配備を検討している。**



いらすとや

災害時は、特別支援学校をそのまま避難所として活用すべき！

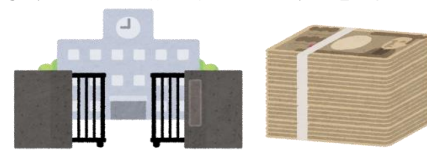
さはらの提案：児童生徒の在校時に被災した場合、非常用電源で対応する事は理解したが、短時間はしのいけても、インフラの寸断、自家用車の破損、家族のケガ等により、**保護者が迎えに来られない事が予想される。**仮に、他の避難所等に移送するとしても、本人の体力的・精神的負担や、家族の心配を増幅する恐れがある。**そこで、学校をそのまま福祉避難所的に使えるようにし、児童生徒が数日間待機できるようにしてはどうか。**また、本校についても、完成時は施設の内覧会を開催頂きたい。

さはらの質問★特別支援学校建設の財源内訳(国の補助金、一般財源、公共施設維持保全基金)と、基金繰入分の算出根拠は？

いらすとや

市答弁：国及び県からの補助金として約6.1億、地方債1億円、公共施設維持保全基金から約5.3億円、残りの約2.7億円が一般財源である。なお、公共施設維持保全基金5.3億円の根拠については、事業費の1/2程度を、国県の補助金と調整し、算出した。

事業コスト圧縮と、基金の最適配分を！



さはらの提言：今定例会の上程分は、小中学校の新增改築だけでも総額50億円以上になる。金額が大きくなるほどコスト意識を高めて頂きたい。公共施設維持保全基金(公共施設の補修等に使う貯金)も、手法としては理解するが、個々の建設コストを圧縮し、少しでも取り崩し額を抑えて、ひとつでも多くの事業に使えるようにすべき。それには、建設部門だけでなく、各所管部署が厳格なコスト意識を持つ必要がある。関係者で知恵を出し合い、コストを圧縮する風土づくりをして欲しい。

3. 文化・観光に関する質問・提案をしました(市民文教委員会)。

さはらの質問★新設された文化観光課が、観光誘客の主管部署として関係部署を束ね、観光振興に本気で取り組むべきと考えるがどうか？

市答弁：観光施策の推進は、文化観光課が主体となって積極的に推進していく。今後は、史跡等も重要な観光資源として位置づけた上で観光施策に取り組み、本市の知名度の向上や誘客の推進に一層努めていきたい。



刈谷ハイウェイオアシスの平成27年度の入場者数は、約970万人となり、更に増加しました。

4. 議案等審議結果

企画総務委員会 陳情第4号:憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情=不採択 議案33:刈谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について 議案34:議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について 議案35:刈谷市税条例等の一部改正について 議案36:刈谷市都市計画税条例の一部改正について 議案37:刈谷市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 議案はいずれも可決 **福祉産業委員会** 陳情第5号:憲法をいかして働く者の権利を守ることを求める陳情=不採択 議案38:刈谷市国民健康保険税条例の一部改正について=可決 **建設委員会** 陳情第7号:刈谷市長は刈谷城一部復元30億円に関して刈谷市民とタウンミーティングを開催することを要望する=不採択 議案39:訴えの提起について(市営住宅明渡し等請求事件)=可決 **市民文教委員会** 陳情第6号:社会福祉法人が運営する認可保育園が祝日保育を行う場合、市は独自の補助をすることを求める陳情=不採択 議案40:刈谷市青山斎園条例の一部改正について 議案41~51:工事請負契約の締結について(富士松北保育園改築(建築)~刈谷市第一学校給食センター建設(管)工事) 議案はいずれも可決 **予算審査特別委員会** 議案52:平成28年度刈谷市一般会計補正予算(第1号)=可決

5. 補正予算案が可決しました。

B型肝炎予防接種が定期化されます。

乳児期におけるB型肝炎感染を未然防止するとともに、他者への感染を予防する。

実施時期:平成28年10月開始

対象者:平成28年4月1日以降に出生し、生後1才に至るまでの間にある者

接種回数:1才に至るまでに3回接種 **自己負担額:**無

問い合わせ先:健康課 TEL0566-23-8877



いらすとや

四捨五入の関係上、多少の誤差が生じています。 単位:億円

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計	563.3	△ 5.4	557.9
特別会計	284.0	0.0	284.0
企業会計	41.0	0.0	41.0
合計	888.3	△ 5.4	882.9

『高齢者安全運転支援事業』は、全国に先駆けた先進的取り組みです。

事業目的:高齢者の自動車事故の防止、事故時の被害軽減。

事業内容:先進安全自動車を購入する高齢者に購入費用の一部を補助。

補助対象者:次のいずれにも該当する65才以上の者

- 1.非営利かつ自ら使用する目的で新車を購入する場合
- 2.自動車検査証の交付日前6か月以上引き続き市内に住所を有し、かつ、現に市内に住所を有する者
- 3.市税を滞納していない者

問い合わせ先:環境推進課 TEL0566-62-1017



搭載する装置	補助金額
①衝突被害軽減ブレーキ装置のみ搭載	2万円/1台
①に加え、次のいずれかの装置を搭載 →②ペダル踏み間違い時加速抑制装置 →③車線維持支援制御装置等※	3万円/1台
①②③いずれの装置も搭載	4万円/1台

※車線維持支援制御装置、車線逸脱警報装置又は、ふらつき注意喚起装置のいずれかの装置を1つ以上搭載

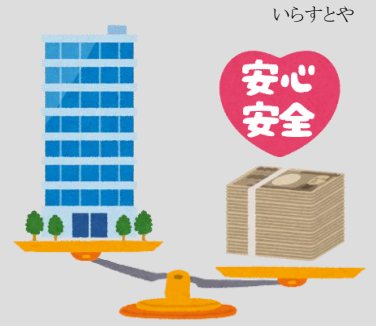
6. 平成28年6月定例会を振り返って

今定例会より、私が所属する文教委員会は『市民文教委員会』に改編されましたが、今回も教育関連を中心に、様々な提案・提言をいたしました。

現在刈谷市は、学校施設の老朽化や、保育園の定員増等に対応する為、多額の予算を投入しています。**子ども達が安全に過ごせる学び舎を維持し、高まり続ける保育ニーズに応える事は大変重要**ですので、その事に全く異論はありません。

ただし、**建設・改修コストの圧縮と、防災・減災機能を必ずセットで考えなくてはなりません。**そういう視点に立った市政運営に努めて頂きたいと思います。

日本全国、いつでもどこでも大規模災害が発生しうる緊張感を持ち、安全安心のまちづくりに取り組んでまいります。



2)活動フレイバック

来夢来人

カナダ・ミササガ市と交流を深めました。



さる4/23(土)、カナダ・ミササガ市(刈谷の姉妹都市)のボニー・クロンビー市長が初来刈されました。36年間市長を務めたヘーゼル・マッキヤリオンさんの後継として、2014年に着任された方です。

私の勤務先のトヨタ紡織は、ミササガ市にほど近いウッドストックに工場があり、昨年は、企業内訓練校「トヨタ紡織学園」の生徒達が現地を訪れた際、ミササガ市を表敬訪問しました。

この事をクロンビー市長に伝え、大変喜んでくれました。刈谷市とミササガ市の草の根交流が更に深まるよう、サポートしていきたいと思っております。



4/6 交通安全オープニングキャンペーン



4/9 愛三工業労組殿 議員交流会



5/11 消防署巡回監査(高浜、安城、知立署)



5/12 トヨタ紡織労組評議会



5/22 トヨタ紡織スプリングウォーク



5/28 トヨタ労組殿 生活総点検



さはら充恭後援会事務所(ご意見・ご要望はこちらまで)

〒448-8651 刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ紡織労組内
Tel:0566(26)0385 Fax:0566(26)0415 E-mail:mmi2002@katch.ne.jp
不在時はお手数ですがTel:0565(52)3224までご連絡をお願いします。

HPアドレス= <http://www.m-sahara.jp> パソコン・スマホでどうぞ!



刈谷市議 さはら

